

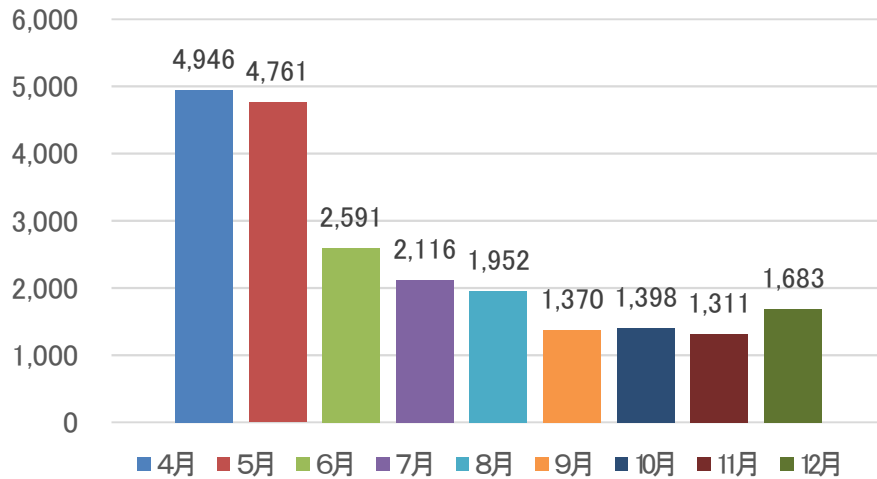
新型コロナウイルス感染症にかかる心の健康相談に関する精神保健福祉センターの対応状況

新型コロナウイルス感染症にかかる心の健康相談について、令和2年12月に精神保健福祉センターで電話相談を受けた件数及び内容は以下のとおり。

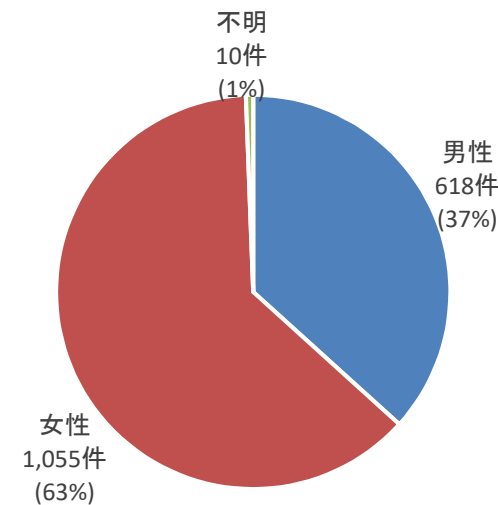
【相談件数】

○都道府県・政令指定都市の精神保健福祉センター（69箇所）での相談件数 1,683件（前月比 + 372件）

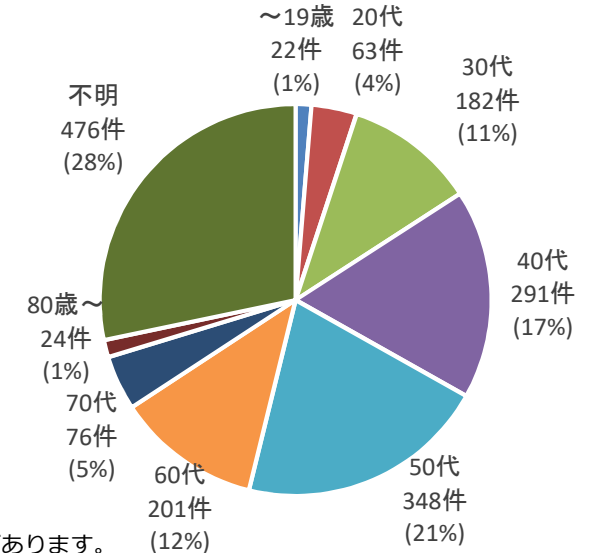
<4月～12月の件数推移>



<12月男女別件数・割合>



<12月年齢別件数・割合>



※四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合があります。

【主な相談内容】

○心の不調

- ・感染に対する不安
- ・不安で眠れない
- ・うつ状態になり、やる気がおきない
- ・不安で精神症状が悪化
- ・先が見えず、今後どうなるか不安
- ・感染者数が増加していることに対する不安
- ・連日の感染症関連の報道により不安が増大
- ・感染に関連した差別、偏見、誹謗中傷等に対する不安
- ・不安や精神状態の悪化による希死念慮の増大

○生活等に関する不安、ストレス

- ・失業や仕事、アルバイトの減による収入減少で、生活が不安
- ・家族の在宅時間増加に対するストレス
- ・職場環境の変化（テレワーク、人員削減等）に対するストレス
- ・家族、他者、職場の感染症予防対策に対するストレス
- ・人と会う機会が減り、憂鬱になった
- ・外出自粛によりストレスがたまる
- ・感染への不安で外出ができない
- ・県外への（からの）移動に対する不安

※相談を受けた結果、治療が必要な方については医療機関に、生活困窮の相談や職場に関する相談などについては、関係の相談窓口につなぐ対応を実施。

※令和2年2月7日～3月31日までの相談件数は、1,742件

※令和2年10月分件数について、一部自治体から修正報告があったため、上記の件数推移グラフを修正している。